

# 勇気

R6.12.17 発行  
校長：種吉 信二

## ロボコン九州大会

12月15日（日）に熊本県益城町で第25回創造アイデアロボットコンテスト九州地区中学生大会が開催されました。本校からは、九州オリジナル部門で県予選を勝ち抜いた2組が出場し、2組とも予選リーグを勝ち上がり決勝トーナメントに進みました。結果は以下のとおりでした。

【九州オリジナル部門】 (敬称略)

チーム名	結果	メンバー
脳筋シスターズ	優勝	2-1
		2-1
揚げ物語	ベスト8	2-1
		2-1

協力しながら試行錯誤して取り組んだ成果が表れました。これからもものづくりの楽しさを味わってほしいと願います。



(右側が本校の「脳筋シスターズ」です)

## 青少年の現状と本音を知る会

12月14日（土）に九州ブロック青少年育成アドバイザー連絡協議会主催の標記会がブリックホールで開催されました。本校からは(2-2)さんと(2-2)さんが参加しました。本会は九州各県で持ちまわって開催されており、今回で11回目です。

大学生や高校生や同年代の他の中学校の生徒との意見交換を通して、より良い社会の在り方について考える機会となったようです。社会的事象に対する見方や考え方の幅を広げ深めるために積極的に行動する姿勢は、大変素晴らしいと思いました。

## 今年の漢字と流行語大賞

ちょっと前までは夏が続き本当に年末がやってくるのだろうかと思っていましたが、今年の漢字や流行語大賞の発表があり、いよいよ年の瀬が迫っていると感じた方も多いのではないのでしょうか。

さて、その今年の漢字は「金」、流行語大賞は「ふてほど」でした。「金」はオリンピックで多くの日本人選手が金メダルを獲得したこと、政治家の裏金が問題になったこと、お金目当てに闇バイトに多くの若者が応募して殺人や強盗などの事件に手を染めたことなど良い意味でも悪い意味でも「金」にまつわる話題が多かったことから選出されたと聞いています。また、流行語の「ふてほど」は、昭和と令和をタイムスリップすることで文化的なギャップを描いたドラマ「不適切にもほどがある！」からきているらしいです。ハラスメントに対する意識が低かった時代からすると現代は息が詰まるような社会になっているかもしれません。しかし、一人一人が生きやすい世の中にするためには、人権感覚を磨くことが大切だということに気づかされたドラマでした。

今年の漢字や流行語大賞の結果は、お金は大事だけど、人と人とのつながりや互いを思いやる優しさを失ってはならないということを改めて考えるきっかけを与えてくれました。

## おすすめの本 (Part10)

中学生へのおすすめの本を先生方に紹介してもらいました。今回は 先生です。

本の名前	作者名	おすすめポイント
からだに おいしい魚の 便利帳	藤原昌高 白鳥早奈英 ・板木利隆 監修	いろいろな魚、野菜、調味料の旬や料理法、味わい等を知るだけでなく、生産者の思いを知ることやそれらに興味を持つことができます。将来の進路選択の可能性を広げることにもつながりそうです。
もっとから だににおい しい野菜の 便利帳		
素材よろこ ぶ調味料の 便利帳		